

# 一般財団法人古橋会平成28年度事業報告書

## I 公益目的支出事業（実施事業）

### 1. 先哲の顕彰（定款第4条第1号）

- (1) 郷土の先哲古橋源六郎暉兒の頌徳碑と、その園地に祀る祖霊社（町民祖先、関係功労者、戦没殉難者）の例祭は、春は稲武町自治区と共催で4月3日（日）、秋は勤労感謝の日11月23日（水）に古橋会の山の講と兼ねて、報恩の誠を捧げた。
- (2) 慶応3年（1867）に古橋源六郎暉兒により創設された伊勢神遙拝所の祭祀は、毎年10月17日に斎行されているが、平成28年度は、雨天のため明川公民館で斎行された。理事長が玉串奉奠の後、直会の最初に来賓として暉兒を顕彰するとともに地元の協力に感謝する挨拶をした。平成24年をもって一区切りした祭祀は、以後、大多賀区を除き明川及び連谷自治区の両自治区により再出発している。なお、平成25年に発足したボランティアグループの「伊勢神峠を愛する会」が伊勢神峠周辺の環境整備をサポートしている。

### 2. 古橋懐古館の運営など社会教育の振興（定款第4条第2号）

平成28年は財団法人古橋会設立から70年、懐古館の一般公開から50年、平成29年は古橋家初代源六郎義次が享保2年（1717）中津川から稲橋に移り住んで300年の節目の年であることに鑑み、28年度には以下の事業を実施した。ただし収蔵庫建設工事に伴い旧1号館である本館を平成29年1月8日より7月31日までを休館とした。（開館は、平成29年8月1日より）

#### (1) 常設展（本館2階）

前年度に引き続き「維新前夜と動乱の群像」を展示するとともに、2階廊下の掲示板用壁を塗り替えた。

#### (2) 特別展（本館1階の1号室）

##### ① 展示期間

平成28年4月1日～平成28年12月24日

##### ② 展示テーマ

「古橋家中興の祖六代古橋源六郎暉兒」の展示内容を増強し、前年度に引き続き展示した。

#### (3) 企画展

##### 企画展1

##### ① 展示期間

平成28年4月1日～9月30日

##### ② 展示テーマ

「大学生のみた稲武の歴史と地理」（平成27年、昌徳寮に合宿した帝京大学生の合宿成果の報告）

③ 展示場所

本館1階の2号室

企画展2

① 展示期間

平成28年10月1日～平成28年12月24日（29年8月1日～10月31日まで展示延期の予定）

② 展示テーマ

「奥三河のまつりごと」（西海館長が取材・撮影した奥三河の年中行事、人生儀礼などの写真や祭祠用具の中から、花祭りを中心として展示。）

③ 展示場所

本館1階の2号室

(4) 別館（旧3号館）の見直し等

収蔵庫建設に伴い、平成29年1月8日より休館した。

なお、別館の利用方法については、西海館長が刊行した『山村の生活史と民具—古橋懐古館所蔵資料からみる—』を中心として見直しを進めたが、あまりにも膨大な資料であることから、別館を保管庫等とし、適宜本館1階に民俗コーナーをもうけて、テーマ別に展示する方向で検討中。更に、別館については、保管している民俗資料を専門家等に特別にツアーを組み、西海館長の説明案内で実施することを検討中。

(5) 収蔵庫の建設

財団設立70年、古橋家初代が中津川から移住して300年の記念事業として、保有している貴重な書画等を長期にわたり、かつ安全な形で引き継いでいくため、収蔵庫を建設することとし、「収蔵庫建設検討委員会」を設置した。4回にわたり討議し、大成ハウジング株式会社を施工主とする建設計画を樹立した。収蔵庫建設計画の概要は次のとおり。

本蔵、旧2号館及び研修室の解体 本体はパルコン工法（耐火、耐震構造）2階建て

1階、2階床面積 101.92㎡ 延べ床面積 202.84㎡

消火設備、空調設備、収蔵品のデータベース化に必要な撮影設備有り。

平成29年1月21日に解体工事の、5月9日には本体工事の安全祈願祭を斎行した。

本体工事は本年10月末までに、周辺関連工事は本年末までに、竣工の予定。

(6) 古橋懐古館出版物の発行

①古橋懐古館資料集第六刊行

古橋千嘉子前館長が逝去直前まで取り組んだ懐古館所蔵の書画の内容を解説する資料集第六（天皇・親王・公家・武将・大名・僧侶・義士篇）を刊行した。

②古橋懐古館誌の発行

「古橋懐古館だより」創刊号を発行した。

(7) 郷土の活性化への協力

さくらまつり、もみじまつり、中馬のあかりを灯す会、旧暦で飾るおひな様等、郷土の各種イベントに会場を提供、スタンプラリー、入館料の値下げ等々、郷土の活性化の為出来るだけの協賛をした。

(8) 企画管理体制の強化

平成27年4月に学芸担当として採用した張艶懐古館職員を平成28年4月学芸員に昇任させ、古文書の整理、管理体制及び展示等の企画運営体制の充実強化を図った。

(9) 教育普及活動の推進

① 夏季合宿研修会の開催

古橋懐古館を奥三河の歴史・文化学習と交流の場として提供した。

ア 神奈川大学：大学院生1名及び中国人13名、フィンランド人1名の留学生14名に  
担当教授（日本民俗学会会長小熊誠）総勢16名

・平成28年8月1日～8月3日

第1日目 夕方到着、入浴後夕食、夕食後研究発表会

第2日目 午前：旧伊勢神トンネル、六代当主源六郎暉兒の造営した（1867年）伊勢神宮遙拝所を視察

午後：豊田市稲武郷土資料館で小田木人形浄瑠璃見学と実演  
夕食後研究発表会

第3日目 懐古館観覧後大野瀬で鮎釣り体験及びやなで鮎つかみ取り

昼食後帰途

イ 東京家政学院大学（西海ゼミ生5名）

・8月16日～8月18日

西海館長の下で、稲武の歴史、文化を学ぶ。

ウ 愛知学泉大学（現代マネジメント学部）

愛知学泉大学は、中山間地域での「地域のふれあいと現地学習」を目的とし、その実践の場に稲武の養蚕を選び、「まゆっこクラブ」を中心に活動して、本年で3年目となる。

・合宿学習：6月9日13：00～10日15：00

参加者 9名（学生8名、准教授1名）

まゆっこクラブの取組と豊田市稲武支所から稲武地域の現状と将来について説明を受けた。

② 西海館長の出前講座の実施

奥三河の歴史、民俗、文化について八王子市、豊田市、相模原市、新城市などで講座・講演を19回実施した。

3. 奨学金の支給など学術・技芸の普及奨励（定款第4条第3号）

(1) 奨学金

平成20年3月31日を以て田口高校稲武校舎が廃校となったので、稲武中学校卒業生で高校へ進学する全員を対象として、足助高校通学者には、バス通学定期券を支給し、他高校進学者にもこれと同額の奨学金を支給してきた。ただし、平成27年度高校進学者からは補助率を減少し、従来の支給額の80%を支給している。

28年度は、支給人員56名、支給総額は634万円となった。

25年度からの支給に当たっては、理事長あてに「高校等へ進学する理由及び将来への夢」について作文の提出を新たに条件としたが、本年度も全員から提出があった。

(2) 稲武中学校への助成

自主自学の精神を涵養するとともに、稲武中学校生徒の学習環境を改善するため、「一般財団法人古橋会稲武中学校への教育支援規定」に基づき、26年度以来稲武中学校への教材購入（タブレット端末等）について助成してきた。28年度で3学年全員に情報端末が行き渡ったので、28年度限りで助成制度を廃止した。なお、情報端末の年間維持費は、引き続き助成を継続する。

(3) 古文書の整理

昭和36年以来継続されてきた古橋家文書研究会は、古橋家文書目録第四集までを刊行した。第五集については、豊田市資料調査会の長谷川伸三委員が取り組むことになっていたが、平成26年6月死去されたので、古橋懐古館で編集することとし、未刊行文書の基本データを整理してきた。

本年度は、その基本データを基に、西海館長の推薦による古文書解読の専門家1人で、第五集の刊行を目指し資料の整理等を進めた。

#### 4. 農林業その他産業の奨励（定款第4条第4号）

- (1) 古橋林業研究所が試験研究を重ね、古橋会の山林で実践し拡大してきた非皆伐複層林施業を継続すると共に、地域に即した低コスト林業の促進をはかるとともに地球温暖化防止対策の一助にもなるとして設定した展示林を、引き続き一般に公開してその普及を図った。
- (2) 非皆伐複層林施業を導入して40年、上木は100年を経過したので、名古屋大学大学院生命農学研究科の近藤稔助教の協力を得てその調査研究を進めた。
- 28年度のテーマは、
- ① 群状択抜跡地の天然更新の可能性に関する研究
  - ② 林業における繊維ロープ導入と耐久性の解明
- (3) 大日本蚕糸会の意見を受けて、生繭を増産するため、その基盤となる桑畑の整備を行うと共に15,000頭の蚕を飼育し、岐阜県蚕糸協会から紹介された文化庁選定保存技術認定を受けている木之本町邦楽器原糸製造保存会に20kgの生繭を出荷した。
- (4) 古橋懐古館周辺を「ものづくりの発信基地」として整備することに努めた。
- ① 林業サロンを「中馬のあかりを灯す会」に無償貸与し、ランプシェードの製作、体験の場としていたが、収蔵庫工事の開始に伴い12月より館長及び学芸員の事務所として活用している。
  - ② 繰糸舎を稲武地域の養蚕の歴史等の展示場として整備した。
  - ③ 財団所有山林の木材を使用し財団の集会所を改造した懐古茶屋を、平成26年4月以来、木エカフェ「ヒトトキ」を営業する「ファーストハンド」に賃貸してきた。カフェは、土曜・日曜開店し、ぬくもりと安らぎのある場を提供するとともに、稲武材、三河材を使用した家具等木製品のほか地元農産加工品等も販売しており、都市と山村の交流にも資しているので28年度も引き続き賃貸した。
- (5) 古橋翁頌徳会事務局を引受け、まゆっこクラブに、まゆっこセンター、繰糸舎及び桑畑を提供し、稲武献糸会を継続支援した。
- 伊勢神宮献糸は、暉兒が明治15年にはじめて以来、28年度は135年目であるが、11月7日に豊田市稲武献糸会（稲武地域13自治区代表）、まゆっこクラブとともに献納した。

#### 5. 公益事業の助成および救恤（定款第4条第5号）

- (1) 大井平公園は、稲武地域の中央公園として位置づけられ、春秋賑わいを増してきた。

豊田市によって計画された名倉川の吊橋も実現し、続いて大井平用水の景観改良事業も愛知県によって進められてきた。一部未完の遊歩道については28年度に豊田市が実施することであったが、29年度に引き継がれる事になったので古橋会としても事業に支援協力している。

(2) 懐古館駐車場を整備し、一般に開放している。

## II その他事業

### 1 県外山林の管理

(1) 飯田市南信濃区所在山林見込400ha、天竜村所在山林見込み600haは非皆伐複層林施業の導入を条件に、地元自治体と5分5分の分収契約を締結している。

南信濃地区については、平成17年に施業計画に基づき間伐を実施したが、その後は実施されていないので、29年度の実施に向けて督励した。

天龍村地区については、天龍村が森林経営委託契約書案を検討しており、29年度には契約締結し、間伐実施に入ることとした。

(2) 富士山麓山中湖畔の山林(1反2畝、1166㎡)について、隣地者より境界確認の申し出があり正当な境界と認めた。

## III 法人会計

1. 古橋会の基本財産は、山林が主体であり、非皆伐施業複層林を提唱し、間伐を促進し、持続的林業を実践した。

2. 財団の賃貸する土地、家屋等については、賃貸借契約書の締結により法律関係を整備した。

3. 老朽化した管理施設を整備保全した。

#### IV. 庶務の概要

##### 1. 役員に関する事項（平成29年6月31日現在）

役名	氏名	就任年月日	現職	備考
理事長 (代表理事)	古橋源六郎	平28. 6. 26 重任	文化遺産を未来につなぐ森づくり の為の有識者会議共同代表	元総務事務次官
常務理事 (業務執行理事)	古橋正光	〃	理事長を補佐し、財団の常務を実行	元名鉄部長
理事	青木克夫	〃	稲橋八幡神社宮司	元稲武町教育長
〃	古橋敬義	〃	NTTレゾナント(株)勤務	
〃	松嶋清元	〃	名古屋市野外教育センター勤務	
〃	古橋幹雄	平28. 6. 26 就任	農林業	元(株)甲羅勤務
〃	古橋真人	平29. 6. 25 就任	(一財)古橋会総務担当	前評議員 前大成建設勤務
監事	古橋義人	平28. 6. 26 重任	古橋クリニック院長	元名大医学部講師
〃	小木曾慶吾	〃	農林業	元稲武町議会議員
評議員長	横田幸三	平28. 6. 26 就任	トヨタケ(株)会長	前トヨタケ(株)社長
評議員	九沢俊一郎	平28. 6. 26 重任	農林業	元稲武町シルバー人材センター事務局長
〃	古橋輝道	〃	東京都東村山市役所勤務	
〃	片桐敏男	平28. 6. 26 就任	押山自治区区長	前豊田市稲武支所勤務

〃	長江洋一	〃	豊田市小原支所勤務	
〃	黒木隆満	〃	(株)k & I顧問、OJM理事	

## 2. 職員に関する事項

職名	氏名	就職年月日	担当事務	備考
古橋懐古館長	西海賢二	平26.4.1	古橋懐古館統括	東京家政学院大学教授 歴史学、民俗学博士
古橋懐古館 学芸員	張 艶	平27.4.1	古橋懐古館学芸担当	
古橋懐古館 事務員	賈青松	平28.1.12	古橋懐古館事務担当	
古橋懐古館 事務員	山本サナエ	平25.4.1	庶務	
〃 〃	福田玲子	平25.4.1	〃	
〃 〃	黒木幸子	昭42.4.1	〃	

## 3. 役員会等に関する事項

### (1) 理事会

年月日	議事々項	結果
平28.6.19	<承認事項>	可決
	1. 平成27年事業報告承認の件	
	2. 平成27年度正味財産増減計算書承認の件	〃
	3. 平成27年度末貸借対照表及び財産目録承認の件	〃
	4. 公益目的支出計画実施報告書の行政庁（愛知県）への提出の件	〃
	5. 定時評議員会の開催の件	〃



	<報告事項> 1. 西海館長講座の件	了承
平28.10.16	<承認事項> 1. 平成28年度補正予算承認の件	可決
	2. 基本財産の一部を普通財産へ移管する件	〃
	<報告事項> 1. 収蔵庫建設検討委員会の設置及び検討結果の件	了承
	2. 豊田市文化財保護審議会関係者来館の件	〃
	3. 古橋懐古館企画展「奥三河のまつりごと」 ～修験・神楽・木食・念仏そして花祭りへ～開催の件	〃
	4. 「古橋懐古館だより」創刊の件	〃
	5. 135年目伊勢神宮献糸の件	〃
	6. 定款25条第4項に基づく理事長職務執行状況報告(28/4~9)の件	〃
7. 定款25条第4項に基づく常務理事職務執行状況報告(28/4~9)の件	〃	
平29.3.19	<承認事項> 1. 平成29年度事業計画書(案)承認の件	可決
	2. 平成29年度収支予算書(正味財産増減計算書)(案)承認の件	〃
	3. 古橋源六郎所有不動産を当法人が購入する件	〃
	4. 古橋源六郎所有地を財団事務所として賃貸借する件	〃
	5. 評議員会開催の件	〃
	<報告事項> 1. 定款25条第4項に基づく理事長職務執行状況報告(27/10~3)の件	了承
	2. 定款25条第4項に基づく常務理事職務執行状況報告(27/10~3)の件	〃

(2) 評議員会

平28.6.26	<承認事項>	
	1. 任期満了に伴う評議員の選任の件	可決
	2. 任期満了に伴う役員（理事及び監事）の選任の件	//
	3. 平成27年度正味財産増減計算書承認の件	//
	4. 平成27年度末貸借対照表及び財産目録承認の件	//
	5. 公益目的財産額の確定に係る書類の行政庁（愛知県）への提出の件	//
	<報告事項>	
	1. 平成27年度事業報告書報告の件	了承
2. 西海館長講座の件	//	

平28.10.23	<承認事項> 1. 基本財産の一部を普通財産へ移管する件	可決
	<報告事項> 1. 平成28年度補正予算承認の件	了承
	2. 収蔵庫建設検討委員会の設置及び検討結果の件	〃
	3. 豊田市文化財保護審議会関係者来館の件	〃
	4. 古橋懐古館企画展「奥三河のまつりごと」 ～修験・神楽・木食・念仏そして花祭りへ～開催の件	〃
	5. 「古橋懐古館だより」創刊の件	〃
	6. 135年目伊勢神宮献糸の件	〃
	7. 定款25条第4項に基づく理事長職務執行状況報告(28/4～9)の件	〃
	8. 定款25条第4項に基づく常務理事職務執行状況報告(28/4～9)の件	〃
平29.3.26	<報告事項> 1. 平成29年度事業計画書報告の件	了承
	2. 平成29年度収支予算書(正味財産増減計算書)報告の件	〃
	3. 古橋源六郎所有不動産を当法人が購入する件	〃
	4. 古橋源六郎所有地を財団事務所として賃貸借する件	〃
	5. 定款25条第4項に基づく理事長職務執行状況報告(28/10～3)の件	〃
	6. 定款25条第4項に基づく常務理事職務執行状況報告(28/10～3)の件	〃